



模擬授業

302教室（3階）

13：00～13：20

患者さんの期待に応えるために 今、薬剤師ができること

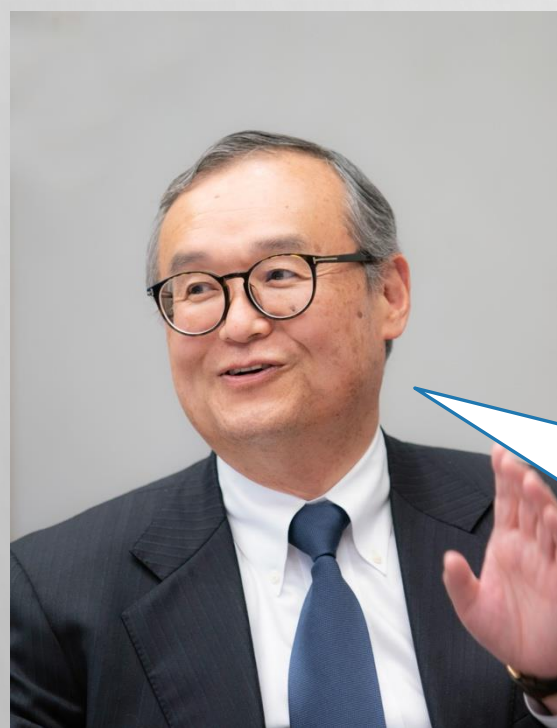
薬を飲めば、病気が必ず治ると期待している患者さんはたくさんいます。しかしながら、薬で全ての患者さんの病気を治して差し上げることはできません。

薬を飲みながら病気と長く上手に付き合っていくこと、また、病気の苦しみを和らげ心を癒し人生の質を高めるとはできると思います。

そのために薬剤師は、患者さんが薬を飲むタイミングや回数を守り、正しい量だけ服用すること、すなわち、キチンと飲んでいただくために、様々な仕事を行っています。

薬は精密に造られていますので、患者さんがキチンと飲めば期待する効果が得られる可能性は高まりますが、飲んだり飲まなかったり、回数や量を守らなかったりすると十分な効果が得られず、思わぬ不利益を被ることもあります。

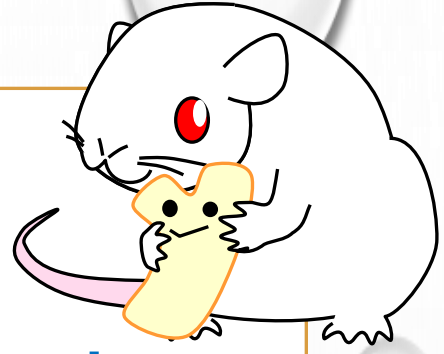
模擬授業では、薬を造ることから始まり、薬剤師ができることや、先駆的なチャレンジについても紹介します。



東京薬科大学卒業後、東京慈恵会医科大学附属病院薬局薬剤師、静岡県立大学薬学部教授を経て、帝京平成大学薬学部教授に至る。
博士（薬学）、静岡県立大学名誉、客員教授

患者さんの期待に応えるために、薬剤師ができること、やらなければならないことは、どんどん増えています。日本だけではなく世界中の薬剤師にとって、今こそ、腕の見せどころではないでしょうか。

オープンラボ

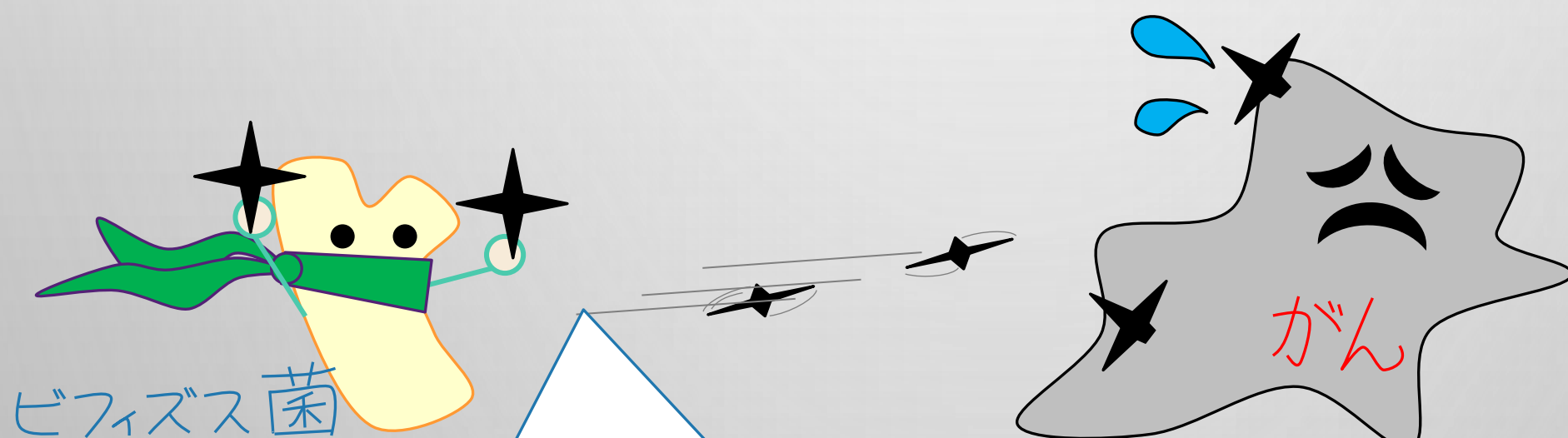


薬学のラボを体験しよう！！ がん細胞と闘うビフィズス菌をみてみよう 専門ラボ3（3階 312） 10:00～15:00 （見学随時）

現在、国内で医療に使われる費用（医療費）は増え続けています。中でも、がんは患者さんの数の増加と高価な医薬品のために、医療費が増える大きな要因となっています。

私たちの研究グループでは、これまでの医薬品開発の歴史の中で、途中で開発を打ち切られてしまったものを復活させ、時間とお金をかけずによく効く治療法を開発しようとしています。

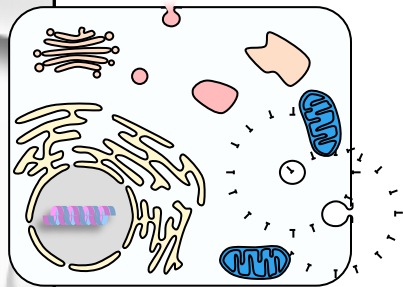
その研究から生まれたのが、ビフィズス菌を使ったがん治療法です。今回のオープンラボでは、ビフィズス菌をどのようにがん細胞と戦わせているのか、その戦略や、実際にビフィズス菌を培養しているところなどを見ることができます。



がん細胞のいるところにすばやく近づいて、秘密の武器でがん細胞をねらい撃ち！
みんなのおなかの中にいる仲間と一味ちがう私たちを見に来てね！

ぼくも活躍するよ！
どんな活躍かはオープンラボに来てみてのお楽しみ！





オープンラボ

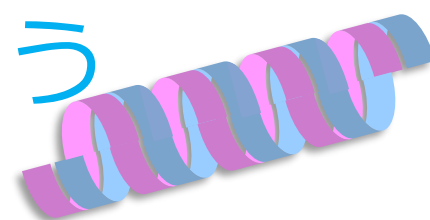
薬学のラボを体験しよう！！

遺伝子の暗号を読み解こう

会場・時間

専門ラボ6（4階 416 研究室）

10:00~15:00



生物の遺伝子情報はDNAの塩基配列（A、G、T、C）で表されます。この4文字で書かれた配列情報は「遺伝子暗号」とも呼ばれます。今回のオープンラボでは遺伝子暗号の解読に挑戦してみましよう。

細胞生化学ユニット

大西 敦



細胞生化学ユニット

青木一真

